

ミニギャラリー

今月の題字



熊野高等学校 3年生
松尾 美樹さん

町の人口と世帯数

平成24年4月30日
(前年同月比較)



(住民基本台帳)



熊野高等学校 3年 福田 由奈さん

【評】尾道の風景画です。作品の構図と青の色づかいがとてもきれいな作品です。第6回高校生絵のまち尾道四季展で最高賞の尾道賞に選ばれました。



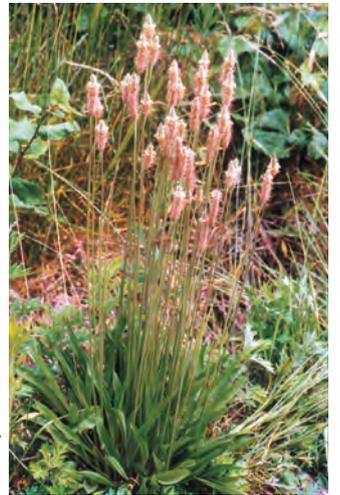
熊野高等学校 3年 中舛 優花さん

【評】顔真卿の祭姪文稿を強く豪快に書き上げました。今年度の全国高等学校総合文化祭(富山大会)に県代表として出品されます。

熊野の自然 (273)

ヘラオオバコ

(オオバコ科)



「^{ヘラオオバコ}寛大葉子」は、葉の形がヘラのようなだとして名が付けました。葉は、すべて根生葉です。長さ10〜30cm、先はとがり、数本の葉脈がやや平行に並んでいます。

熟すと横に裂けて蓋が取れ、黒い種を2個出します。

花期は4〜8月。高さ20〜70cmの花茎が何本も直立します。花茎には縦に5本の溝があり断面は星形です。花穂には小さな花がびつしりと密集していて、下から上へ順々に咲いていきます。まず白色の細い雌しべが伸び出し、それが枯れると雄しべが成熟します。雄しべの先には花粉を出す葯があり、花穂から突き出た白っぽい葯がひらひらして目立ちます。花粉を風に運んでもらう風媒花です。

ヨーロッパ原産の多年草で、世界中に広く帰化。日本には江戸末期の渡来と言われ、現在では全国各地に分布している帰化植物です。県内でも太田川沿いの土手など大群生していますが、町内では、初神や平谷などで数株見ているだけです。

しりと密集して、下から上へ順々に咲いていきます。まず白色の細い雌しべが伸び出し、それが枯れると雄しべが成熟します。雄しべの先には花粉を出す葯があり、花穂から突き出た白っぽい葯がひらひらして目立ちます。花粉を風に運んでもらう風媒花です。

帰化植物とは、鳥や風、波などの自然の営力ではなく、人間が媒介となって本来の生育地から移入され、野生化して繁殖している植物を指します。

葯とと呼ばれる果実は、

町内のこの仲間には、本種とオオバコ、北米原産の帰化植物ツボミオオバコです。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

広報「くまの」・熊野町ホームページ

広告掲載募集!

広告掲載料金には、割引があります。
(ただし、1回の申し込みで3月分以上の申し込みが条件)

| 月数 | 割引率 |
|-----------|-----|
| 3月以上6月未満 | 5% |
| 6月以上9月未満 | 10% |
| 9月以上12月未満 | 20% |
| 12月 | 30% |

※詳しくは、総務課 Tel820-5601



↑熊野町ホームページ

広告

平成24年度分の広告を募集中!

※最高割引30%は、1年間(12ヵ月)の一括契約のみです。広報紙は6月末までにお申し込みください。